

各 位

一般社団法人 東京精神科病院協会  
会 長 平川 淳一  
学会委員会委員長 岩下 寛  
(公印省略)

第 35 回東京精神科病院協会学会開催について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、標記学会について、令和 5 年 10 月 24 日 (火)、京王プラザホテル (新宿) にて別添プログラムのとおり開催いたします。

つきましては、万障お繰り合わせのうえ、是非ご参加いただけますようご案内申し上げます。

なお、お申込みの際には、下記をご確認のうえ、お手続きくださいますようお願いいたします。

敬具

記

1 申込方法

別紙申込書により以下項目をご記入後、お取りまとめのうえ、東精協事務局まで FAX (042-334-1434) にてお送りください。

(1) 学会参加者は、氏名及び職種番号 (①～⑩) をご記入ください。

(2) ランチョンセミナー及び懇親会は事前申込制です。参加申込書に必ずご出欠及びセミナーの希望順位をご記入ください。セミナーは第 1 希望先着順としますが、定員に達した場合は希望順位をもとに他会場に割り振りさせていただきます。第 2・第 3 希望が空欄の場合は、第 1 希望以外は受講希望無とみなし、第 1 希望が定員に達した際のお弁当はご用意しません。

**ランチョンセミナー1** 第 1 会場 5 階コンコードボールルーム D (12 時 30 分～13 時 30 分)

〔座 長〕 東精協理事/東京海道病院 院長 室 愛子先生

〔演 題〕 多職種で遅発性ジスキネジアを見逃さない

〔講 師〕 医療法人誠心会あさひの丘病院 副院長・看護部長 丸屋 めぐみ様

〔演 題〕 遅発性ジスキネジアとその関連コスト-VMAT2 阻害薬の必要性-

〔講 師〕 医療法人社団東京愛成会高月病院 院長 長瀬 幸弘先生

**ランチョンセミナー2** 第 2 会場 5 階 コンコードボールルーム E (12 時 30 分～13 時 30 分)

〔座 長〕 薫風会山田病院 院長 山田 幸樹先生

〔演 題〕 今年改訂された双極性障害のガイドラインを概観する

〔講 師〕 医療法人財団青溪会駒木野病院 副院長 田 亮介先生

〔演 題〕 多職種連携と LAI システムの可能性

〔講 師〕 医療法人財団青溪会駒木野病院 精神看護専門看護師 則村 良様

**ランチョンセミナー3** 第 3 会場 4 階 花 A (12 時 30 分～13 時 30 分)

〔座 長〕 鶴が丘ガーデンホスピタル 院長 後藤 晶子先生

〔演 題〕 異質性・多様性に富むうつ病当事者をどう支援していくべきか

〔講 師〕 杏林大学医学部精神神経科学教室 准教授 坪井 貴嗣先生

※セミナーへの参加者は医療関係者 (病院職員含む) に限定されています。

**懇親会** 4 階 花 (17 時 15 分～19 時 15 分)

## 2 参加申込締切

令和5年9月25日(月)

- 3 学会参加費 お一人様 事前：6,000円(10%消費税545円込)  
当日：8,000円(10%消費税727円込)

懇親会費 お一人様 5,000円(10%消費税454円込)

別紙参加申込書にご記入の参加費、懇親会費の合計金額をお振込みください。入金確認後、「学会参加証」及び「抄録集」を事前送付します。

一旦お振込みいただいた参加費は返金いたしかねますのでご了承ください。

## 4 振込期限

令和5年10月2日(月)

## 5 振込先

三井住友銀行 府中支店 普通預金

口座番号：7700641

口座名義：一般社団法人東京精神科病院協会

(イツパンシヤダンホウジントウキヨウセイシンカビヨウインキヨウカイ)

※振込名目識別のため、振込人名の前に「G」(大文字・半角)の字をご入力ください。

例) 

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| G | ト | ウ | セ | イ | タ | ロ | ウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 6 その他

申込締切(9月25日)後に参加をご希望の場合は、当日受付となります。学会当日「当日受付」コーナーで参加費8,000円をお支払いください。懇親会への当日参加はできません。ランチオンセミナーは参加可能ですが、お弁当のご用意はございませんのでご了承ください。

## 7 問合せ先

一般社団法人 東京精神科病院協会事務局 登録番号 T2-0124-0500-0621

担当：引本・植野 ☎042-352-0541 ✉gakkai@toseikyo.or.jp

以上

第 35 回東京精神科病院協会学会参加申込書 < 申込締切：9 月 25 日（月） >

送信先：東精協事務局あて FAX：042-334-1434

日精協

|      |           |
|------|-----------|
| 住所 〒 | _____     |
| 施設名  | _____     |
| ご担当者 | TEL _____ |

令和 5 年 9 月 日

|    | 氏名【必須】 | 職種【必須】<br>〔①～⑩〕<br>を記入 | ランチョンセミナー<br>〔1/2/3/欠〕を記入【必須】 |        |        | 懇親会<br>○を記入【必須】 |
|----|--------|------------------------|-------------------------------|--------|--------|-----------------|
|    |        |                        | 第 1 希望                        | 第 2 希望 | 第 3 希望 |                 |
| 1  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 2  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 3  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 4  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 5  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 6  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 7  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 8  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 9  |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |
| 10 |        |                        |                               |        |        | 出・欠             |

・参加費 @6,000 円 ×

人数 名 = 円

・懇親会費 @5,000 円 ×

人数 名 = 円

合計 円

(振込金額)

◎記入方法

- ・氏 名：楷書でていねいにご記入ください。
- ・職 種：以下項目より選択し、番号でご記入ください。

① 医師 ② 看護師 ③ 准看護師 ④ 薬剤師 ⑤ PSW  
⑥ 心理 ⑦ OT ⑧ 栄養 ⑨ 事務 ⑩ その他（具体的に）

- ・ランチョンセミナー（事前申込・第1希望先着順）：第1～第3希望両欄に1・2・3・欠のいずれかをご記入ください。第1希望が定員に達した場合、第2・第3希望欄に記載のない方は受講希望無とみなします。
- ・懇親会（事前申込）：出・欠のいずれかに○印をご記入ください。
- ・その他：学会及び懇親会への参加人数、小計及び合計（お振込）金額をご記入ください。

◎お振込先 < 振込締切：令和 5 年 10 月 2 日（月） > 識別のため名義人頭に G をご記載ください。

三井住友銀行 府中支店 普通預金 7700641 一般社団法人東京精神科病院協会

- ・振込人名義が施設名と異なる場合は、以下にご記入をお願いします。

振込人名義

|  |   |
|--|---|
|  | 様 |
|--|---|

---

# 第 35 回 東京精神科病院協会学会

---



令和 5 年 10 月 24 日 (火)  
京王プラザホテル 新宿

一般社団法人 東京精神科病院協会  
会長 平川 淳一

---

# 第35回東京精神科病院協会学会 日程表 — 令和5年10月24日（火） —

| 会場／時間 | 第1会場<br>コンコードボールルームD<br>(5階)  | 第2会場<br>コンコードボールルームE<br>(5階)   | 第3会場<br>花A<br>(4階)  | 第4会場<br>花B<br>(4階)                     | 第5会場<br>花C<br>(4階)                     | 第6会場<br>花D<br>(4階)                   |
|-------|---|--|---|--|--|--------------------------------------|
| 8     | 8:30 受付開始   |  |   |  |  |                                      |
| 9     | 9:00～9:30 開会式   |  |   |  |  |                                      |
| 10    | 9:40～11:59<br>一般演題<br>□演発表A<br>A1-1～10  | 9:40～11:59<br>一般演題<br>□演発表A<br>A2-1～10   | 9:40～12:13<br>一般演題<br>□演発表A<br>A3-1～11  | 9:40～12:09<br>一般演題<br>□演発表B<br>B1-1～15 | 9:40～12:09<br>一般演題<br>□演発表B<br>B2-1～15 | 9:30～15:00<br>企業展示<br>飲料提供<br>休憩コーナー |
| 11    |   |  |   |  |  |                                      |
| 12    |   |  |   |  |  |                                      |
| 13    | 12:30～13:30<br>ランチョンセミナー1<br>多職種で遅発性ジスキネジア<br>を見逃さない 他<br>座長:室愛子<br>講師:丸屋めぐみ・長瀬幸弘             | 12:30～13:30<br>ランチョンセミナー2<br>今年改訂された双極性障害の<br>ガイドラインを概観する 他<br>座長:山田幸樹<br>講師:田亮介・則村良 | 12:30～13:30<br>ランチョンセミナー3<br>異質性・多様性に富むうつ病当<br>事者をどう支援していくべきか<br>座長:後藤晶子<br>講師:坪井貴嗣 |  |  |                                      |
| 14    | 13:45～14:45<br>教育講演1<br>多職種医療チームによる<br>クロザピン治療<br>座長:平川淳一<br>講師:稲田健                           | 13:45～14:45<br>教育講演2<br>若者の自殺行動<br>—背景と対応—<br>座長:田邊英一<br>講師:笠原麻里                     |   |  |  |                                      |
| 15    | 15:00～17:00<br>シンポジウム<br>精神科病院における<br>虐待防止<br>座長:岩下覚・片平真悟<br>シンポジスト<br>佐藤淳哉・関哉直人<br>中島公博・吉川隆博 |  |   |  |  |                                      |
| 16    |   |  |   |  |  |                                      |
| 17    | 閉会挨拶  |  |   | 17:15～19:15<br>懇親会                     |  |                                      |
| 18    |   |  |   |  |  |                                      |

# 第35回東京精神科病院協会学会プログラム

8:30～

受付開始・開場

9:00～

開会式

## 教育講演 1

第1会場  
5階 コンコードボールルームD

13:45～14:45

多職種医療チームによるクロザピン治療

座長 平川 淳一 東京精神科病院協会 会長／平川病院 院長  
講師 稲田 健 北里大学医学部精神科学 主任教授

## 教育講演 2

第2会場  
5階 コンコードボールルームE

13:45～14:45

若者の自殺行動 -背景と対応-

座長 田邊 英一 東京精神科病院協会 副会長／慈雲堂病院 院長  
講師 笠原 麻里 駒木野病院 副院長

## シンポジウム

第1会場  
5階 コンコードボールルームD

15:00～17:00

15:00～15:15 「スモールメッセージ」

### 精神科病院における虐待防止

座長 岩下 覚 東京精神科病院協会 常務理事／桜ヶ丘記念病院 院長  
片平 真悟 東京精神科病院協会看護部門研修会 運営委員長  
斎藤病院 理事・看護部長

- 1 精神科病院における虐待防止(行政の立場から)  
佐藤 淳哉 東京都福祉局障害者施策推進部 精神保健医療課長(統括)
- 2 虐待の認識を新たに 現場の尊厳の確保に向けて  
関哉 直人 関哉法律事務所 弁護士
- 3 精神科病院における虐待防止の取組に関して  
中島 公博 公益社団法人日本精神科病院協会 常務理事/医療法人社団五稜会病院 理事長・院長
- 4 精神科看護の立場から -精神科病院で虐待を防止するための方策、組織づくり-  
吉川 隆博 東海大学医学部看護学科精神看護学領域 教授  
一般社団法人日本精神科看護協会 会長

9:40～10:35

座長 松村 堯明 根岸病院 院長

- A1-1 感染対策ラウンドの改定による感染対策チームの変化  
三恵病院 細井 卓 (看護師)
- A1-2 新型コロナウイルスクラスターに対応した看護職員の意識の変化とチームの成長  
多摩病院 相馬 裕一 (看護師)
- A1-3 新型コロナウイルス感染症の院内感染対策の変化  
井之頭病院 永岡 知生 (看護師)
- A1-4 精神科病棟での新型コロナウイルス感染症への対応 —多床室中心の病棟での振り返り—  
薫風会山田病院 宮崎 匡典 (看護師)

10:36～11:17

座長 牛尾 敬 陽和病院 院長

- A1-5 発達障害専門プログラム非適応層を対象とするプログラムの新設・支援拡充  
—それぞれが安心して参加できるグループを目指して—  
晴和病院 福島 真由 (看護師)
- A1-6 ADOS-2 (発達障害心理検査) クリニカルパス4日間コース (入院) の実践  
—入院クリニカルパス使用実践に向けての取り組みと考察・今後の展望—  
土田病院 仙石 永久 (看護師)
- A1-7 精神科デイケアにおける「発達障害専門プログラム」の実践報告  
大泉病院 上田 舞 (公認心理師)

11:18～11:59

座長 落 裕太 久留米ヶ丘病院 副院長

- A1-8 医療保険より介護保険への転換による身体拘束の変化  
—精神療養病棟から介護療養型医療施設への転換から介護医療院へ向けての取り組み—  
東京足立病院 坂井 久 (准看護師)
- A1-9 アルコール依存症における日常生活動作低下に対する身体リハビリテーション実施結果の報告  
平川病院 風間 広行 (理学療法士)
- A1-10 精神科病院における口腔ケア向上への取り組み  
—口腔ケア委員会立ち上げから口腔ケアアセスメントシートの活用まで—  
慈雲堂病院 伊藤 絵美 (看護師)

9:40~10:35

座長 清水 美香 根岸病院 作業療法室 主任

- A2-1 小グループ作業療法「地域生活体験プログラム」の取り組み  
薫風会山田病院 荻野 亜衣里 (作業療法士)
- A2-2 当院精神科デイケアでの就労支援 –自分らしく生きるために–  
慈雲堂病院 石田 明日香 (作業療法士)
- A2-3 長期入院患者に対する集団作業療法の適応と治療者の在り方について  
東京海道病院 榎戸 美穂 (作業療法士)
- A2-4 救急病棟で関わりを持った若年層患者の精神科作業療法に対する意識とそこから広がるニーズに関して  
–入院生活と退院後の生活を送る患者個々へのインタビュー調査をもとに–  
駒木野病院 森 結菜 (作業療法士)

10:36~11:17

座長 奈良井 悟 慈雲堂病院 薬剤科長

- A2-5 ビペリデン減薬による影響  
長谷川病院 岩崎 みおな (薬剤師)
- A2-6 ビペリデン塩酸塩錠、ビペリデン塩酸塩散の出荷停止に対する当院の取り組み  
–各薬剤の使用量の推移と院外処方箋の疑義照会に関するプロトコル作成–  
桜ヶ丘記念病院 水野 雅恵 (薬剤師)
- A2-7 持効性注射剤の情報提供に関する取り組み  
–院外へ持効性注射剤の情報提供を行う仕組みの検討と実施–  
桜ヶ丘記念病院 粕谷 光弘 (薬剤師)

11:18~11:59

座長 大津 絵美子 吉祥寺病院 看護師長 / 精神看護専門看護師

- A2-8 精神科急性期病棟において患者が求める看護師の対応 –入院患者へのインタビューから–  
慈雲堂病院 岩戸 祐樹 (看護師)
- A2-9 アンガーマネジメントに基づく振り返りから明らかになった精神科看護師の認識の修正  
高月病院 山田 能永 (看護師)
- A2-10 不穏患者のケアにあたる精神科未経験看護師支援のヒント  
多摩中央病院 加藤 萌 (看護師)



9:40～10:35

座長 山口 左紀子 東京さつきホスピタル 地域連携室 室長

- A3-1 統合失調症で末期癌となった患者と家族への支援  
－30年ぶりの入院で関わり始めた精神保健福祉士の立場から－  
長谷川病院 星野 浩輔（精神保健福祉士）
- A3-2 精神科長期入院患者の退院可能性の判断における査定内容  
－看護師と精神保健福祉士の職種間の比較－  
鶴が丘ガーデンホスピタル 飯田 淳一（看護師）
- A3-3 ピアサポートワーカーの存在意義 －精神科デイケアにおける影響力－  
葛飾橋病院 岡島 弘美（看護師）
- A3-4 2年間に2回以上の入退院を繰り返す患者へのアプローチと患者の意識の変化について  
吉祥寺病院 井上 花彩（看護師）

10:36～11:31

座長 近藤 安恵 慈雲堂病院 診療支援部 副部長 / 管理栄養士

- A3-5 精神科療養病棟における食事と間食の食形態統一に対するフローチャート作成の取り組み  
平川病院 戸祭 美生（言語聴覚士）
- A3-6 精神科領域における摂食・嚥下機能低下の要因  
鶴が丘ガーデンホスピタル 木下 久望子（管理栄養士）
- A3-7 新しい献立の導入とアンケート調査の結果から見えた患者の食事に対する期待感  
－当院の活動報告を踏まえて－  
薫風会山田病院 土田 全（管理栄養士・言語聴覚士）
- A3-8 食物形態選定チャートを使用した栄養状態改善に向けた取り組み  
根岸病院 飛田 美穂（看護師）

11:32～12:13

座長 杉山 智子 慈雲堂病院 副看護部長

- A3-9 精神科看護師の職場における心理的ストレス尺度の項目収集  
長谷川病院 寺田 廣（看護師）
- A3-10 新人看護師のコミュニケーションと職場満足度 －傾聴研修の実施とその影響－  
成仁病院 吉見 聖伸（看護師）
- A3-11 PNS<sup>®</sup>を参考にしたTPN看護提供方式の効果の検証  
高月病院 山本 広通（看護師）

9:40～10:09

座長 丸山 千裕 平川病院 看護主任

- B1-1 ガラス製やすりの導入を試みて  
慈雲堂病院 尹 千津子 (准看護師)
- B1-2 「ストレングスマッピングシート」と「清潔意識」を繋げたアプローチの効果  
－患者の「夢や希望」を大切に－  
高月病院 谷川 誠 (看護師)
- B1-3 具体的な褥瘡計画書の作成や家族との情報共有を推進した褥瘡委員会の取り組み  
三恵病院 青柳 直子 (看護師)

10:10～10:39

座長 黒部 美恵 平川病院 看護主任

- B1-4 慢性期病棟看護師の陰性感情の頻度とその対処方法  
桜ヶ丘記念病院 森下 涼子 (看護師)
- B1-5 認知症患者に対する看護師・看護助手の困難の実態調査  
慈雲堂病院 石神 真理 (看護師)
- B1-6 精神科の看護師が患者から暴力を受けた後に安心して働くためのサポートとは  
－身体的暴力を経験した中堅看護師のインタビューから－  
高月病院 齋藤 涼介 (看護師)

10:40～11:09

座長 松永 桂子 高月病院 看護師長

- B1-7 精神科急性期病棟での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する実践報告  
多摩病院 井口 尚紀 (看護師)
- B1-8 発熱外来における取り組みと状況についての報告  
慈雲堂病院 菊谷 美恵子 (看護師)
- B1-9 認知症病棟での疥癬の集団感染に対する感染対策  
長谷川病院 渡邊 理恵子 (看護師)

11:10～11:39

座長 涉里 さやか 吉祥寺病院 看護師長 / 精神科認定看護師

- B1-10 訪問看護対象者におけるフレイルチェック実施後の変化  
平川病院 犬井 良子 (作業療法士)
- B1-11 13年間の入院生活からの旅立ち  
七生病院 江上 幸仁 (看護師)
- B1-12 患者の「施設で長生きするよりリスクがあっても自宅に帰りたい」を叶える退院支援  
－看護チームの連携で成し遂げた患者の意思決定の実現－  
葛飾橋病院 池田 幸代 (看護師)

11:40 ~ 12:09

座長 吉村 理穂 大泉病院 公認心理師・臨床心理士

- B 1-13 統合失調症の認知機能障害のアセスメント試案  
- JART25 と WAIS- III の簡易実施法による推定 IQ の比較 -  
薫風会山田病院 宮寺 祐史 (公認心理師)
- B 1-14 自己表出の乏しい患者に対するペーシングの試み  
多摩病院 今村 英明 (看護師)
- B 1-15 精神科病院での動物介在活動の利点  
長谷川病院 浅原 久子 (薬剤師)

一般演題 口演発表B (B2-1~15)

第5会場  
4階 花C

9:40 ~ 10:09

座長 早川 由乃 こころのホスピタル町田 栄養部主任 / 日本精神科医学会認定栄養士

- B 2-1 中鎖脂肪酸を主原料とした食用油脂を活用して低栄養状態が改善した一例  
東京足立病院 庄司 良平 (管理栄養士)
- B 2-2 食べることは生きること - 胃瘻でも食べることを諦めない -  
武蔵野中央病院 河上 綾 (准看護師)
- B 2-3 摂食嚥下サポートチームによる食事支援 - 自立を促す関わり -  
薫風会山田病院 茂木 穂高 (看護師)

10:10 ~ 10:39

座長 伊藤 絵美 慈雲堂病院 看護科長 / 摂食嚥下障害看護認定看護師 / 特定看護師

- B 2-4 退院支援に対する女性慢性期開放病棟看護師の意識変化の検証  
- 退院支援カンファレンスの参加と勉強会を通して -  
高月病院 後藤 京子 (看護師)
- B 2-5 生活課題がありながらも再入院せずに地域で過ごすことができた事例の検討  
- 地域定着継続における外来看護師支援の重要性 -  
長谷川病院 和田 真実子 (看護師)
- B 2-6 多職種カンファレンスによる退院支援 - アセスメントシートを導入して -  
西八王子病院 鈴木 寛 (看護師)

10:40 ~ 11:09

座長 古谷 真由美 東京足立病院 看護師長 / 精神科認定看護師

- B 2-7 ベッドのセンサースイッチ入れ忘れの要因  
- 『防げる』転倒転落事故を「ゼロ」にする取り組み -  
永生病院 濃沼 愛 (看護師)
- B 2-8 亜急性期病棟における暴力行為の認識調査 - 安全で安心できる療養環境に向けて -  
根岸病院 細田 茜 (看護師)
- B 2-9 全職員が一次救命処置について学ぶことを推進した医療安全委員会の取り組み  
三恵病院 大野 隼人 (看護師)

11:10～11:39

座長 細谷 真由 長谷川病院 精神看護専門看護師

- B2-10 精神科慢性期開放病棟における服薬自己管理患者への服薬ミーティングの試み  
ー服薬アドヒアランス向上に向けてー  
高月病院 齋藤 繭子 (看護師)
- B2-11 長期入院患者を対象とした服薬グループミーティングで語られた患者の服薬に対する思い  
とその変化  
斎藤病院 熊谷 苗美 (看護師)
- B2-12 複雑な背景を持ち、自閉的で自己表現がほとんどない患者に関わる難しさ  
ー20年以上精神科受診に至らなかったケースからー  
桜ヶ丘記念病院 深井 光貴 (看護師)

11:40～12:09

座長 渡辺 浩之 慈雲堂病院 地域連携推進部 副部長 / リハビリ科

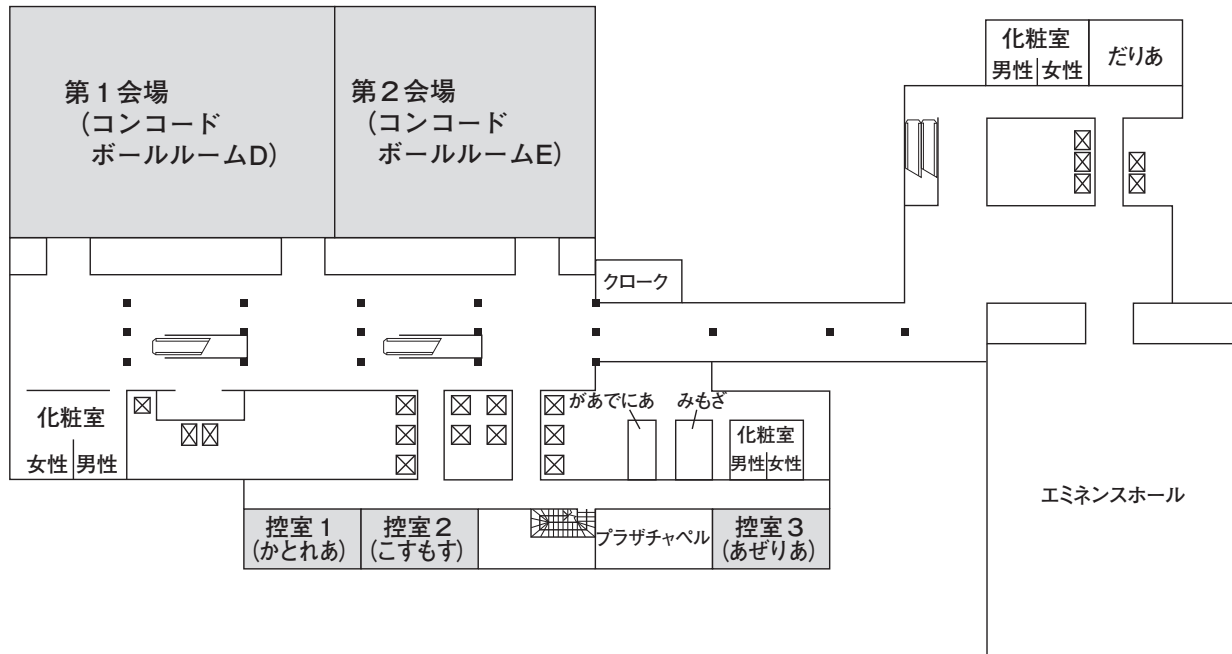
- B2-13 前頭側頭型認知症患者に対し関心の高い人形や手作業を提供し集団作業療法導入を図った  
事例  
ー病棟内徘徊の軽減を目指してー  
鶴川サナトリウム病院 池間 大輝 (作業療法士)
- B2-14 視覚からの情報を用いた介入にて見当識訓練を実施し退院に繋がった事例  
ーレビー小体型認知症を呈したケースの不安減少までの介入ー  
鶴川サナトリウム病院 堀井 慎人 (作業療法士)
- B2-15 作業療法士が行った自閉スペクトラム症患者の感覚評価  
平川病院 鈴木 淳一 (作業療法士)

## ◎取得単位等

- 1 日本医師会生涯教育制度認定研修
- 2 日本精神神経学会「精神科専門医資格認定更新研修」C群 1単位
- 3 日本薬剤師研修センター認定研修 4単位
- 4 日本看護協会、日本精神科看護協会、日本作業療法士協会認定研修 参加証明書発行

## ◎会場図

### 【5階】



### 【4階】

